

パブリック・コメント手続実施結果報告

様式3

番号	22-2
案件名	「中野区食品ロス削減推進計画（案）」
意見募集期間	令和5年1月11日（水）から令和5年1月31日（火）まで

1. 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	1
ファクシミリ	0
郵送	0
窓口	0
合計	1

2. 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

合計意見数	8 件
-------	-----

【「第2章 食品ロスについて」について】（2 件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	食品ロスについて、家庭、事業系の原因の元を絶つ考え以外にも、発生はある程度仕方がないと捉え、食品ロス扱いたくない（＝循環型社会）施策も重要と思う。	区では、家庭で食べきれずに余ってしまう食品を区内窓口で受け付け、社会福祉協議会を通じて区内の子ども食堂等へ寄付する「フードドライブ」を実施している。今後も、国や都・他自治体の動向やリサイクル技術の進展等を注視しながら、実現可能なリサイクルの手法を検討していく。
2	2 食品ロスの現状（5）アのごみ量の推移で2019年度まで減っていた要因は何か分かれば書いた方がよい。単なる自然減なのか中野区の施策の効果なのか、後者ならばその施策を参考にできるのか。	ごみ排出量の減少の要因は、資源化の推進などによるものである。「資源化の推進などにより」という文言を追記する。

【「第3章 計画の理念と達成目標」について】（1 件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
.		

3	<p>2 達成目標 (1) 食品ロス削減の 2030 年度目標値は、家庭系であれば 1 人あたりの重量、事業系であれば 1 事業所あたりの重量に換算して啓蒙活動の資料とすれば、他人事ではない、自分事として考える一助になるのではないかと。</p>	<p>目標を達成するために必要な食品ロス削減量は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭系：区民 1 人あたりの年間削減量 178 グラム ・事業系：食品関連事業所 1 か所あたりの年間削減量 47.8 キログラム <p>区民 1 人あたり、区内飲食店・小売店等食品事業所 1 か所あたりの年間削減量について追記する。</p>
---	--	---

【「第 4 章 国・都の役割」について】 (1 件)

No	提出された意見の概要	区の考え方
4	<p>東京都食品ロス削減推進計画(抜粋)における【区市町村の役割】IV 施策の進め方の「4. 先進的な技術・ビジネスモデルの導入促進」に該当する施策が中野区の「目標達成に向けた取組」に含まれていないのはなぜか。</p>	<p>第 6 章取組 3 の「4. 区内事業者への情報提供、情報発信」や取組 4 の「1. 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会への参加」に記載のとおり、先進自治体の事例について情報収集を行い、新たな取組について検討していく。</p>

【「第 6 章 目標達成に向けた取り組み」について】 (3 件)

No	提出された意見の概要	区の考え方
5	<p>取組 1 の 1 (1) 「多様な広告媒体による普及啓発」について、ごみを排出する当事者は必ずごみ集積所に出向くので、そこへポスターなどを貼るのも一案と思う。普及啓発効果の高い中野区独自の手法を考えてほしい。</p>	<p>ご意見も参考に、効果的な普及啓発について検討していく。</p>
6	<p>取組 1 の 1 (2) 「出前講座」や「環境学習」は“依頼に応じて”行っているとあるが、教育委員会事務局とも連携して、区立幼稚園、小・中学校であれば必ず実施することにしてはどうか。話を聞くだけの受け身の学習ではなく、自ら実践できる学習内容になっているのか。学習食品ロス削減の重要性の子供から親への波及効果が期待できる。</p>	<p>「出前講座」「環境学習」は、依頼に応じて実施しているもののほか、食ロス月間や環境月間、区環境事業の際に実施している。また、受講者の行動変容に繋がるよう、講義のみでなく、クイズやゲーム形式など、様々な内容で実施している。今後も連携先や実施方法について検討していきたい。月間イベント、区環境事業の際にも行っている旨を加筆する。</p>

7	<p>取組4について、例えば「先進的な技術」としてコンポストの実験検証をしてはどうか。取り組んでいる渋谷区等と連携して実践すれば、「環境学習」にもなり一石二鳥になる。中野区が腐臭などの課題を解決して都市部でもリサイクルできることを実証できれば、コンポスト設置率のトップランナーとなり、国全体での設置も進み、食品ロスがもたらす環境問題解決に大きく貢献できるのではないか。</p>	<p>ご意見も参考に、コンポストの普及について検討していきたい。</p>
---	--	--------------------------------------

【参考資料：中野区事業系食品ロス実態調査報告書（抜粋）について】 (1 件)

No	提出された意見の概要	区の考え方
8	<p>問7の回答の「その他」にある「食品リサイクルのコストが高い。」はどのような意味か。これらの課題から中野区が関わるべき施策が明確になるのではないか。</p>	<p>「貴事業所において、食品ロス削減に取り組むに当たり課題はありますか」という問いに対しての回答であるため、事業系食品廃棄物をリサイクル事業者へ引き渡す際のコストについて述べていると思われる。区としても課題と捉えている。</p>

3. 提出された意見により変更した箇所とその理由

No.	変更した箇所	変更の理由
1	<p>2. 食品ロスの現状 (5) 中野区の現状 ア ごみ量の推移</p> <p><u>中野区のごみ量は、資源化の推進などより、令和元(2019)年度まで着実に減っていましたが、新型コロナウイルスの感染症の影響等による生活様式の変化等により、令和2(2020)年度の排出量は増加しました。</u></p> <p>(略)</p>	<p>2. 食品ロスの現状 (5) 中野区の現状 ア ごみ量の推移</p> <p>中野区民一人あたりのごみ量は、令和元(2019)年度まで着実に減っていましたが、新型コロナウイルスの感染症の影響等による生活様式の変化等により、令和2(2020)年度の排出量は増加しました。</p> <p>(略)</p>

2	<p>2. 達成目標</p> <p>(1) 食品ロスの削減 (略) (現状値、目標値、削減量の表)</p> <p><u>目標達成に向けて</u></p> <p><u>家庭系食品ロスは区民一人あたり年間178グラム、事業系食品ロスは区内飲食店・小売店等食品事業所1か所あたり年間47.8キログラムの食品ロスを削減することで目標値が達成できる見込みです。</u></p>	<p>2. 達成目標</p> <p>(1) 食品ロスの削減 (略) (現状値、目標値、削減量の表)</p>
3	<p>取組1 食品ロス削減への理解の促進</p> <p>1. 情報発信・普及啓発の充実</p> <p>(2) 出前講座・環境学習の充実</p> <p><u>出前講座・環境学習は、月間イベント、区環境事業の際に行うとともに、町会・自治会や小・中学校、各種団体等からの依頼の応じて実施しています。従来の方法に加え、新たに電子資料や動画を作成・活用し、啓発内容の充実を図ります。</u></p>	<p>取組1 食品ロス削減への理解の促進</p> <p>1. 情報発信・普及啓発の充実</p> <p>(2) 出前講座・環境学習の充実</p> <p>町会・自治会や小・中学校、各種団体等からの依頼に応じて行っている「出前講座」について、従来の方法に加え、新たに電子資料や動画を作成・活用し、啓発内容の充実を図ります。</p>